

令和〇年〇〇月〇〇日

村上市長 様

（申請者）

住 所 村上市三之町1番1号

氏名又は名称

代表者役職・氏名 村上 太郎

令和〇年度 村上市産業支援プログラム事業補助金交付申請書

村上市産業支援プログラム事業補助金交付要綱第7条の規定により、補助金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

- 1 補助事業の種類 創業応援事業
- 2 補助事業に要する経費及び補助金交付申請額

補助事業に要する経費	<u>1,150,000円</u>
補助金交付申請額	<u>600,000円</u>
- 3 添付書類
 - （1）別紙1～別紙8（事業内容に応じて添付すること）
 - （2）見積書
 - （3）個人情報に関する同意書
 - （4）前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める書類

収 支 予 算 書

1. 収入の部

（単位：円）

区 分	金 額	資金調達先
自己資金	550,000	
補助金	(c) 600,000	※補助金相当額の手当方法 ・ 自己資金 (600,000円) ・ 金融機関からの借入金 (円) ・ その他 (円)
その他		
合 計	(a) + (b) 1,150,000	

2. 支出の部

【市内業者に発注する経費】

（単位：円）

区 分	金 額	積算明細等
広報費	150,000	別紙見積書のとおり※リーフレット作成
補助対象経費合計	(a) 150,000	

【市内業者以外に発注する経費】

（単位：円）

区 分	金 額	積算明細等
機械装置等購入費	1,000,000	別紙見積書のとおり※厨房機器購入
補助対象経費合計	(b) 1,000,000	

※補助対象経費のみ記載すること

$150,000 \times 2/3 = 100,000$
 $1,000,000 \times 1/2 = 500,000$
 上限額500,000円のところ
 空き店舗加算により、上限額600,000円

3. 補助金交付申請額

（単位：円）

(a) $\times 2/3$ + (b) $\times 1/2$	(c) 600,000	※千円未満切捨て
-------------------------------------	-------------	----------

- ・ (c)について、上限額が設定されています
- ・ 人材育成サポート事業補助金及びまちなか景観魅力アップ事業補助金の補助率は一律 $1/2$ になります

事業計画書

1. 創業者の概要

氏 名	村上 太郎	生年月日	〇〇〇〇年〇〇月〇〇日
住 所	〒958-8501 村上市三之町1番1号		
電話番号	0254-00-0000	FAX番号	0254-00-0000
メールアドレス	xxxx@xxx.xxx.jp		
現在の所属・職名	創作居酒屋〇〇〇〇		
現在の所属機関所在地	〒959-3449 村上市岩船駅前56番地		
職 歴	年 月	内 容（勤務先、担当業務や役職、技能等）	
	平成〇〇年〇月	食堂〇〇 調理業務	
	平成〇〇年〇月	創作居酒屋〇〇〇〇 調理業務	
	令和〇〇年〇月	退職予定	
事業経験	☒ 事業を経営していたことはない。 ☐ 事業を経営していたことがあり、現在もその事業を続けている。 ☐ 事業を経営していたことがあるが、既にその事業をやめている。 （ やめた時期 ： 年 月 ）		
取得資格	調理師免許（平成〇〇年〇月取得）		

2. 事業の内容

（1）創業する事業の概要

法人・個人の別	☐ 法人 ・ ☒ 個人事業	創業予定日	令和〇年〇〇月〇〇日
企業（店舗）名	オステリアMURAKAMI（仮称） ※イタリア風居酒屋		
所在地（予定地）	〒959-3192 村上市山口444番地		
営業内容	村上の特産や旬の食材をふんだんに使用し、イタリア風創作料理をお客様に提供する居酒屋		
競合・需要等の企業を取り巻く状況	コロナ禍を経て外食需要は年々縮小しており、同業の廃業も少なくないと認識している。 一方で、荒川地区には、イタリア風創作料理を提供する飲食店がないため、エリアでの優位性があり、若年層の需要が見込まれる。		
主な販売先・仕入先	（昼営業）ランチ … 4種類／ドリンク付き 11:00～14:00 （夜営業）一品料理、各種ワイン・ビール等 17:00～22:00 （仕入れ先）食材関係 … 〇〇農産、有限会社〇〇〇〇食品 ほか 酒類 … 株式会社〇〇〇〇酒店 ほか		
製品・サービスのセールスポイント	夜営業時、アルコール類は100種類以上の種類を提供できる。 イタリアのバール、居酒屋をイメージしたお店づくりを行う。		
従業員	他人従業員の雇用 常用 1名 、パート・アルバイト 2名		

（2）事業所（店舗）の情報

所有・賃貸の別	☐ 所有 ・ ☒ 賃貸（空き店舗加算の有無： ☒ 有 ・ ☐ 無）		
事業所等面積	事業の用に供する面積 <u>110.00</u> ㎡		
賃貸期間	令和〇年〇月〇日 ～ 令和〇年〇月〇日（〇年間）		
賃貸料（月額）	150,000円 ※光熱水費・共益費除く		
空き店舗の情報 （加算有の場合）	空室期間	令和〇年〇月～ 現在	
	旧店舗名	〇〇ダイニング	
	所有者氏名	荒川 太郎	
	電話番号	0254-00-0011	

3. 数値計画

(1) 必要な資金と調達方法

必要な資金		金額	調達の方法	金額
設備資金	店舗、工場、機械、備品、車両など（内訳） （申請経費） 厨房機器・什器（大型）1,000 （申請外経費） 店舗内装工事 2,600 食器類 300 テーブル等備品 500	4,400千円	自己資金	1,500千円
			親、兄弟、知人、友人等からの借入 （内訳・返済方法）	千円
			金融機関からの借入 （内訳・返済方法） 元金80千円×50回（年1.8%）	4,000千円
運転資金	材料・商品仕入、経費支払資金など（内訳） （申請経費） 広告宣伝費 400※一部対象 （申請外経費） 材料仕入れ代金 500 消耗品、その他 200	1,100千円	その他（内訳・名称） ※本補助金を含まない	千円
合 計		5,500千円	合 計	5,500千円

(2) 売上・利益等の計画（月平均）

		1 年目 (R○年○月～R○年12月期)	2 年目 (R○年1月～R○年12月期)	3 年目 (R○年1月～R○年12月期)
売上高①		1,609千円	1,609千円	2,091千円
売上原価② （仕入高）		563千円	563千円	732千円
経費	人件費	400千円	400千円	500千円
	家賃	150千円	150千円	150千円
	支払利息	6千円	6千円	6千円
	その他	150千円	150千円	240千円
	合計③	706千円	706千円	896千円
利益①－②－③		340千円	340千円	463千円

売上高、売上原価、経費の計算根拠	【創業当初 1～2年目】 ①売上高 昼… 850円 ×20席×0.7回転×26日＝ 309千円 （日曜定休）夜… 2,500円×20席×1.0回転×26日＝1,300千円 ②原価率 35% ③人件費 従業員1人192千円 アルバイト2人 [1人／日] 時給1,000円×8時間×26日＝208千円 ④家賃 150千円 ⑤支払利息 6千円 ⑥その他光熱水費、宣伝広告費等 150千円 【軌道に乗った後 3年目】 ①創業時の1.3倍（勤務時の経験、デリバリーサービスの開始） ②創業当初の原価率と同じ ③従業員給料増 ④アルバイト1人増（デリ） ⑤その他諸経費90千円増（車両経費）
------------------	--

4. 補助事業の内容

(1) 創業に向けた補助事業での取組内容

イタリア風創作料理を提供する居酒屋「オステリアMURAKAMI（仮称）」を開店するため、本事業では、機械器具等購入費として冷凍冷蔵庫、冷凍ストッカー、コールドテーブル、製氷機、3口ガスレンジを購入します。

また、広報費として、当店を紹介するリーフレットを作成し、開店前後に広く当店をPRしていきます。リーフレットの内容としては、ターゲットを明確にして、店の雰囲気やおすすめメニューが分かるよう工夫します。開店前には、商業施設への配架依頼や近隣にお住まいの方への配布、店舗前での配布を考えています。

(2) 事業の効果（創業による市内経済への効果）

当店は、市内の特産や食材をふんだんに使った料理を提供することをコンセプトにしているため、食材の生産者や流通にかかわるお店に微力ながら経済的な効果があると見込んでいます。

また、立地エリアでは唯一のイタリア風創作居酒屋として、潜在的な需要を喚起できると自負しており、外食が気軽に楽しめるお店としてエリアを盛り上げていきたいと思っています。

(3) 創業までのスケジュール

項 目	○月	○月	○月	○月	○月	○月
店舗内改装						
厨房機器・什器搬入						
備品等購入						
チラシ制作・広告宣伝						
開業						

5. 創業後の計画

実施時期	具体的な実施内容
1 年目	開業前に身内を対象にプレオープンを行い、回転率を上げるための工夫などを行う。また、事前の開業広告なども入念に行いたい。開業1年目は地元をしっかり認知されるよう、商工団体などが主催するイベントにも積極的に参加を図ってきたい。
2 年目	ランチメニューおよび、夜は提供できるアルコール類の種類を増やしていきたい。余計な経費も増加してしまわないよう、従業員・アルバイトの業務効率化を図りたい。
3 年目	経営が軌道に乗ってきたら、売上の落ちる平日日中にデリバリーサービスを開始する。またそのためのアルバイトも1人増予定。

年 月 日

村上市長 様

支援機関名

印

支援機関担当者職・氏名

村上市産業支援プログラム事業補助金に係る支援確認書（創業応援）

支援対象者

（１）事業者が作成した事業計画書に関して、下記の要点を確認しました。（□にチェック）

☐	①	事業目的が明確である
☐	②	創業する事業について十分な知識と経験を有している
☐	③	経営ビジョン（方針）、経営目標が明確である
☐	④	市場動向（業界、立地、消費者特性、商品特性、競合）が的確に捉えられている
☐	⑤	自社の製品・サービスにセールスポイントがある
☐	⑥	売上・利益等の計画は適正である
☐	⑦	自己資金や事業に必要な資金を確保している
☐	⑧	当該事業計画の実施により、市内経済の活性化に資する取組である

（２）支援機関の今後の支援内容

--